

topic

- 【1】マイナ保険証トラブルが止まらない／オンライン学習案内（保険医協会）
- 【2】峡西峡南社保協総会／高校組織行動／中央社保学校案内／介護キャラバン企画

山梨 社保協 ニュース

山梨県社会保障推進協議会
 〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-9-28
 勤医協駅前ビル6階
 TEL/FAX 055(222)5882
 syaho@s.yamanashi-min.jp

医療の現場で マイナ保険証トラブルが止まらない

全国保団連・山梨県保険医協会が、オンライン資格確認システムトラブル事例アンケート調査を実施



▲山梨県保険医協会の実態調査結果を報じたテレビのニュース番組

全国保険医団体連合会と各都道府県保険医協会ではこの間、「オンライン資格確認システムトラブル事例アンケート」を実施しました。その結果をまとめ、記者会見などを通じて、マイナ保険証の医療現場でのトラブルが止まらない実態について、社会に発信しています。

（山梨県保険医協会 伊藤龍吉事務局長）

マスク等でも大きく取り上げられていたが、YBS山梨放送は他県の情報を手に入れ、山梨協会にも問い合わせたため、協会としての記者発表前にニュース放送となりました。記者発表後は、新聞・テレビ各社が報道してくれました。今回の調査は緊急の取り組みであり、実際に医療機関に来院して「マイナ保険証」で受診した患者さんがわずか（利用率6%程度）という状況の中で、回答いただけなかった医療機関

システムを停止し、現行保険証の存続を

今回の調査結果は、あくまでも氷山の一角でしかありません。このまま2024年秋を迎え、現在の紙やプラスチックの健康保険証が廃止され、ほとんどの患者さんが「マイナ保険証」での受診を余儀なくされれば、大変な事態になることは明白です。国が招いたこのトラブルは、何の責任もない医療機関と患者さんのトラブルへと発展することとなり、医療従事者への大きな負担となるばかりか、医療への不信感の増大にもつながります。

山梨県保険医協会は、このシステムの不具合がすべて解消されるまでは、まずはシステムを一旦停止し、総点検を要求するとともに、現在の保険証を廃止せず継続させることを強く要望します。

会員医療機関の38.6%でトラブル

山梨県保険医協会が実施した実態アンケート調査では、会員医療機関から51件の回答がありました。オンライン資格確認の運用を開始した医療機関（44件）のうち、17件（38.6%）が、「トラブルがあった」と回答しました。

トラブルの種類についての設問に対する回答（複数回答可）では、「無効・該当なしと表示され被保険者の資格情報が正しく反映されない」が56.0%で最多となりました。

した（48.1%）、「保険者（連絡した14.8%）」、「レセコンメーカーに相談した（14.8%）」、「コールセンターに連絡した（11.1%）」などです。皮肉にも、廃止が予定されている現行の健康保険証により資格確認ができ、保険診療が可能となっていました。「保険者へ聞くことでOKだった」「システムが再起動されてもエラーとなり、患者の待ち時間となってしまった」「工事日程の調整がすぐ出来なかった」「トラブルの原因が分からなかった」等、とすぐにトラブル対処ができないケースも少なからずありました。

医療機関と患者との間に無用のトラブルも

トラブルが発生したことと患者との間に無用のトラブルを招いていることがわかったケースが2件（8.0%）でした。「マイナ保険証」によって医療機関

イナ保険証ありきの政策を強引かつお粗末な体制で進めてきた結果、マイナ保険証等の利用拡大に伴い患者・医療現場双方が被害を受ける状況となっています。

ウェブ学習会『オンライン請求義務化の現状と課題について』

日時：2023年8月8日(火) 19:00~20:00
 講師：前谷かおる氏（全国保険医団体連合会事務局）
 対象：どなたでも参加・視聴できます（zoomで。事前の申し込みは不要です）
 参加費：無料
 主催：山梨県保険医協会
 ★ミーティングID：890 4712 4046／★パスコード：021221

学習動画『保険証廃止による医療・介護現場への影響』

★山梨県保険医協会は6月13日、全国保険医団体連合会の本並省吾氏を講師に「保険証廃止による医療・介護現場への影響」のオンライン学習会を開催いたしました。「マイナ保険証」を利用したオンライン資格確認システムのトラブルの事例や現状と今後の運動などについて学びました。学習会の動画・資料は、YouTubeの「山梨県保険医協会チャンネル」にアップしていますので、ぜひご利用ください。「山梨県保険医協会チャンネル」で検索、または右のQRコードを読み取り、動画をご覧ください。



